

各位

一般財団法人アジア太平洋研究所  
所 長 宮 原 秀 夫  
代表理事 小 浪 明APIR自主研究プロジェクト・オンラインフォーラム  
「アジアにおける経済のダイナミズムとグローバル化の展望」  
**COVID-19が日本経済、世界経済に与えた影響**  
～消費に関するデータ、貿易に関するデータの分析から浮かび上がった事実～

前略 当研究所の研究プロジェクト「アジアをめぐる経済統合の展望と課題」の研究活動の一環としてオンラインフォーラムを開催いたします。

COVID-19の感染拡大から1年半以上が経過し、日本経済、世界経済にも大きな影響を与えましたが、多くのデータを分析することからいくつかの事実が浮かび上がってきました。

今回は学界より、消費関連のデータ分析を通じて日本経済に起こっている変化を研究されている専門家と、貿易関連のデータ分析を通じて世界経済、GVCsに関する研究をされている専門家をお招きします。両先生のご講演の後、それに続く討論を通じて、これからの日本経済を取り巻く課題を考える上で重要な視点を提供していきます。

なお、コロナ禍の状況を鑑み、オンラインフォーラム形式とさせていただきます。

APIR会員企業のみならず、ならびに一般の方に広くご参加いただければ幸いです。

草々

記

日 時 令和3年10月15日（金）13:30～15:00

開催形式 オンラインフォーラム（Zoomウェビナーによる配信）

## 次 第

- ・ 基調講演 1 「COVID-19が日本経済に与えた影響 消費に関するデータから読み解けたこと」  
小西葉子氏（後掲）
- ・ 基調講演 2 「COVID-19が国際貿易やGVCsに与えた影響：貿易データから見たGVCsの頑強性を  
中心に」安藤光代氏（後掲）
- ・ パネルディスカッション  
〈コーディネーター〉木村福成氏（APIR上席研究員／慶應義塾大学経済学部教授  
／東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）チーフエコノミスト）  
〈パネリスト〉 小西葉子氏、安藤光代氏

## 講師略歴

小西葉子氏（独立行政法人経済産業研究所上席研究員）名古屋大学大学院経済学研究科博士号（経済学）取得。一橋大学経済研究所講師、ミエール大学客員研究員などを経て2008年より現職。専門は、計量経済学、統計学。

安藤光代氏（慶應義塾大学商学部教授）慶應義塾大学大学院経済学研究科博士号（経済学）取得。一橋大学大学院経済学研究科専任講師、慶應義塾大学商学部専任講師、同学商学部准教授等を経て、2016年より現職。専門は、国際貿易論。

■ 締め切り 10月8日（金）

■ 参加費 無 料

■ 定 員 100名（定員になり次第締め切ります）

■ 申込方法 APIRホームページ（<https://www.apir.or.jp/event/>）よりお申込み下さい。追って、事務局よりセミナー情報（URL、パスワード等）をご登録いただきました個人メールアドレス（代理アドレス不可）にお知らせいたします。【ご連絡先】 TEL：06-6485-7692 FAX：06-6485-7689 e-mail：kouenkai@apir.or.jp  
（担当：池田、山守、松尾）

以 上